

スーパーマーケット景気動向調査

2014年2月調査結果(1月実績)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因について補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

調査項目①

スーパーマーケット中核店舗における「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」について、前年同月及び前月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

調査項目②

「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」の各カテゴリーについて、当月における好調カテゴリーと不調カテゴリーとその要因を調査

【景況感調査】

調査項目

「景気状況」、「消費者購買意欲」、「周辺の競合状況」、「周辺地域の景気」について、2~3か月前と比較した現状及び今後2~3か月の見通しを「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じて DI を算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

2014年2月21日

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

I. 調査結果概況

景気判断 DI（現状判断）はプラス水準を維持も、先行き判断に下降傾向

1月スーパーマーケット中核店舗における景気判断は50.3と前月に比べてやや下降（-0.9）したものの、依然として判断の分かれ目となる50を上回る結果となった。

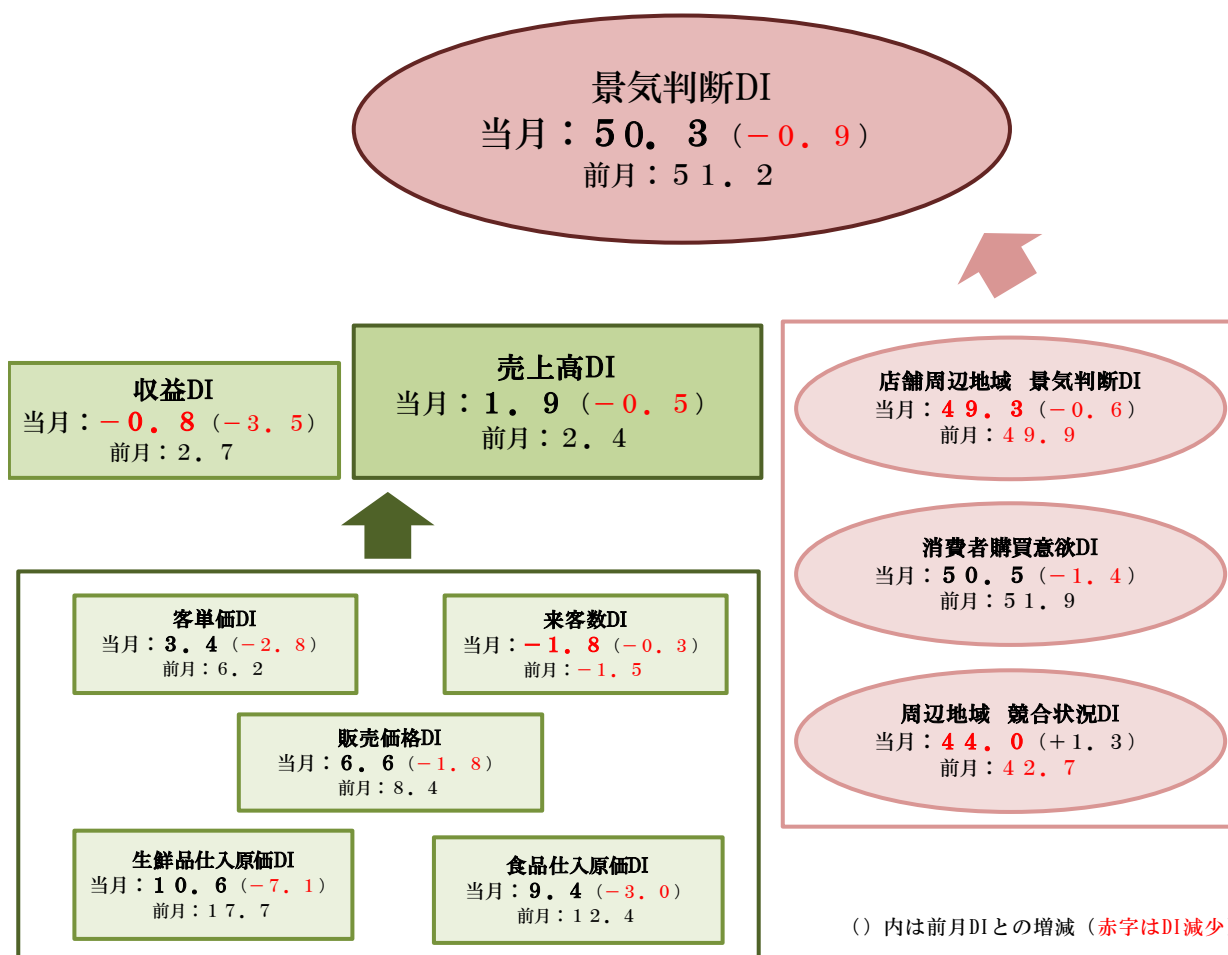
経営動向調査によると、売上高 DI は前月とほぼ同水準の1.9と引き続きプラスを維持している。収益 DI は下降し（-3.5）-0.8となったものの高い水準を維持している。

仕入原価 DI は生鮮が大きく下降し（-7.1）10.6、食品もやや下降し（-3.0）9.4とこれまでの急激な上昇は一服し、落ち着いた兆しを見せている。このように仕入各 DI は下降しているが、販売価格 DI は（-1.8）6.6、客単価が（-2.8）3.4と大きな下降とはなっておらず、高い水準を維持していることが、売上高 DI のプラスに寄与している。来客数 DI には大きな変化はなく-1.8となった。

景況感調査では、現状、先行き判断ともにやや下降傾向がみられている。特に先行き判断については下降幅が大きく、現状判断とのかい離が前月以上に広がる結果となった。4月からの消費税率引き上げを控え、慎重な見通しが目立つようになってきたといえる。

2014年1月

スーパーマーケット中核店舗における景況感・経営動向



2014年1月キーワード TOP 3

1. 青果相場高
2. 安定した気候条件
3. 冷凍食品問題

スーパーマーケット経営動向調査

当月：1月速報版集計 234社
前月：12月確報版集計 263社

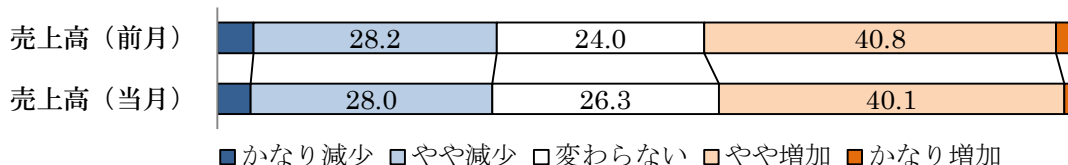
I. 調査結果詳細

1. 経営動向調査（前年同月との比較）

①売上高 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

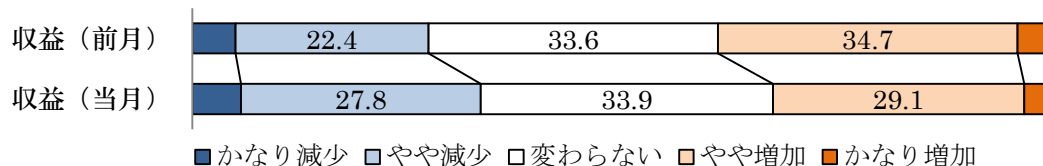
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	4.2	28.2	24.0	40.8	2.7	2.4
売上高（当月）	3.9	28.0	26.3	40.1	1.7	1.9



②収益 DI

「やや増加」が減少し、「やや減少」が増加（DIは下降）

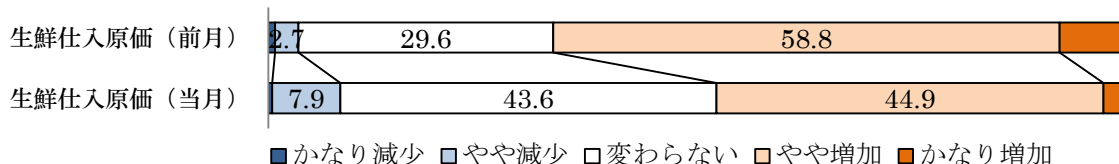
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	5.0	22.4	33.6	34.7	4.2	2.7
収益（当月）	5.7	27.8	33.9	29.1	3.5	-0.8



③生鮮仕入原価 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは下降）

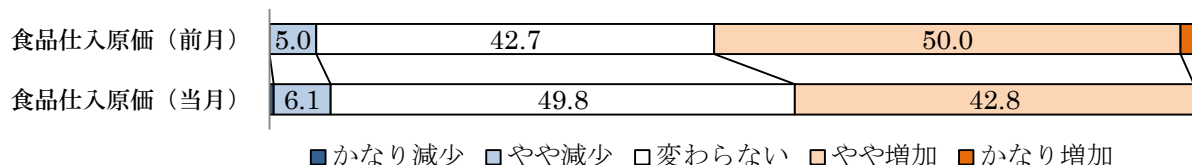
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価（前月）	0.8	2.7	29.6	58.8	8.2	17.7
生鮮仕入原価（当月）	0.4	7.9	43.6	44.9	3.1	10.6



④食品仕入原価 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは小幅に下降）

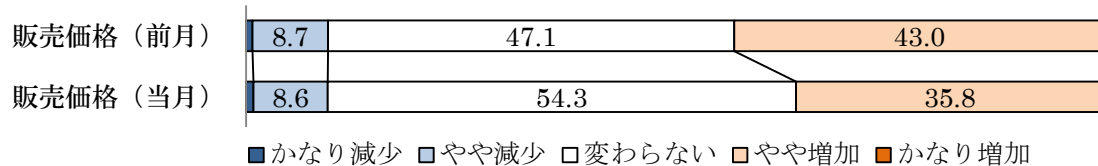
回答構成比（％）	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価（前月）	0.0	5.0	42.7	50.0	2.3	12.4
食品仕入原価（当月）	0.4	6.1	49.8	42.8	0.9	9.4



⑤販売価格 DI

「やや増加」が減少し、「変わらない」が増加（DIは小幅に下降）

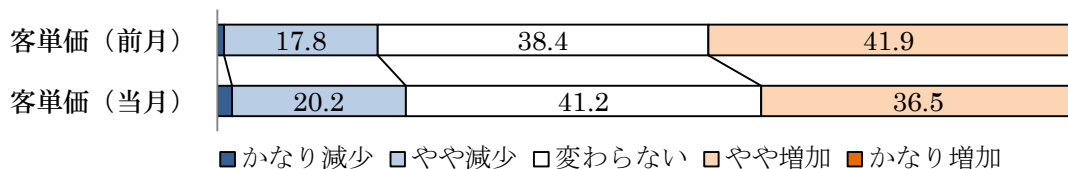
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.8	8.7	47.1	43.0	0.4	8.4
販売価格（当月）	0.9	8.6	54.3	35.8	0.4	6.6



⑥客単価 DI

「やや増加」が減少（DIは小幅に下降）

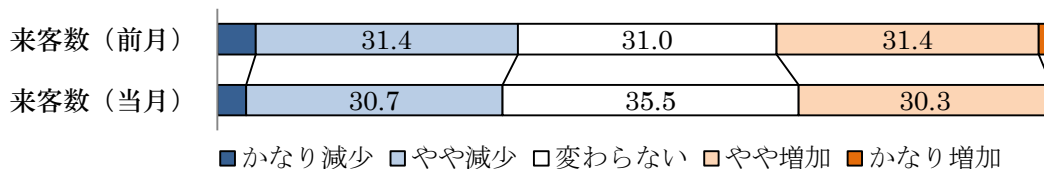
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.8	17.8	38.4	41.9	1.2	6.2
客単価（当月）	1.7	20.2	41.2	36.5	0.4	3.4



⑦来客数 DI

回答構成比に変化なし（DIは大きな変化なし）

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数（前月）	4.6	31.4	31.0	31.4	1.5	-1.5
来客数（当月）	3.5	30.7	35.5	30.3	0.0	-1.8

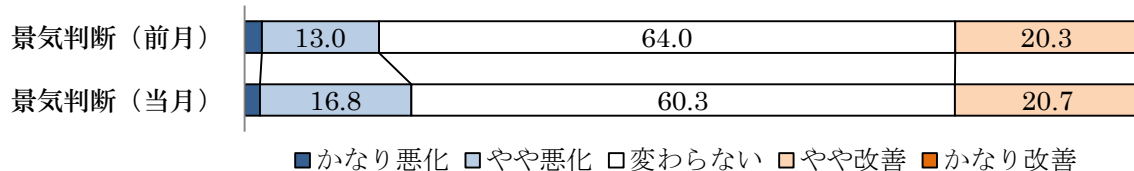


2. 景況感調査（現状判断：2～3カ月前との比較）

①景気判断 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや悪化」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

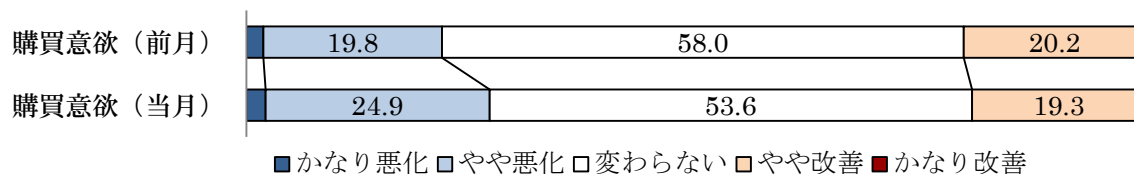
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
景気判断（前月）	1.9	13.0	64.0	20.3	0.8	51.2
景気判断（当月）	1.7	16.8	60.3	20.7	0.4	50.3



②消費者購買意欲 DI

「変わらない」が小幅に減少し、「やや悪化」が小幅に増加（DIは小幅に下降）

回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
購買意欲（前月）	1.9	19.8	58.0	20.2	0.0	49.1
購買意欲（当月）	2.1	24.9	53.6	19.3	0.0	47.5



③周辺競合状況 DI

「やや改善」が小幅に増加（DIは小幅に上昇）

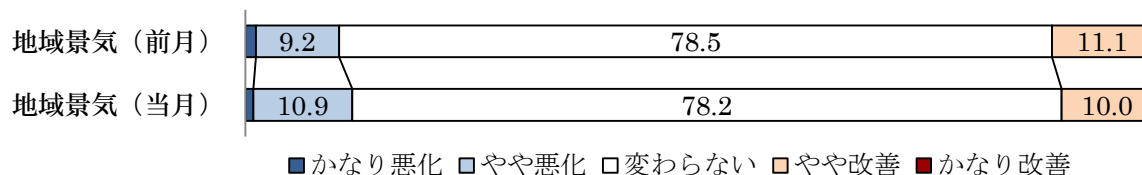
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
競合状況（前月）	4.6	22.1	71.4	1.9	0.0	42.7
競合状況（当月）	4.3	20.2	70.8	4.7	0.0	44.0



④周辺地域景気状況 DI

回答構成比に変化なし（DIに大きな変化なし）

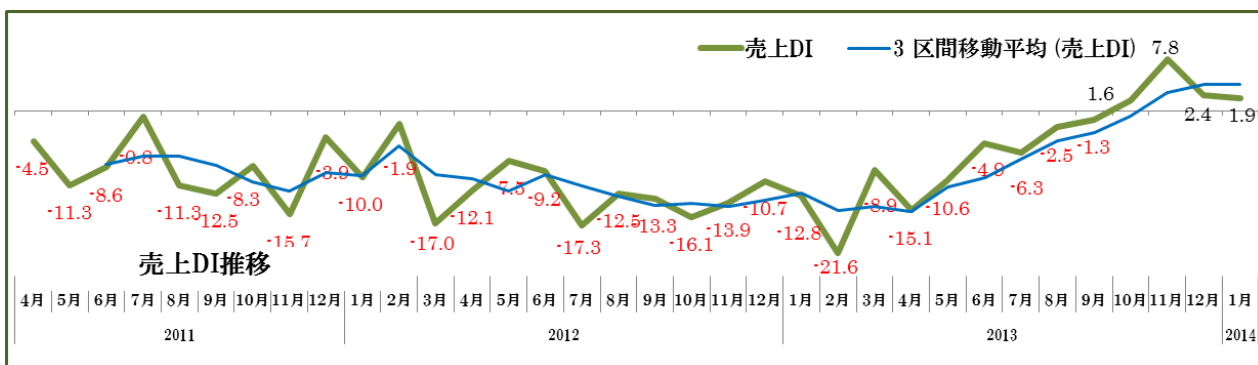
回答構成比（%）	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
地域景気（前月）	1.1	9.2	78.5	11.1	0.0	49.9
地域景気（当月）	0.9	10.9	78.2	10.0	0.0	49.3



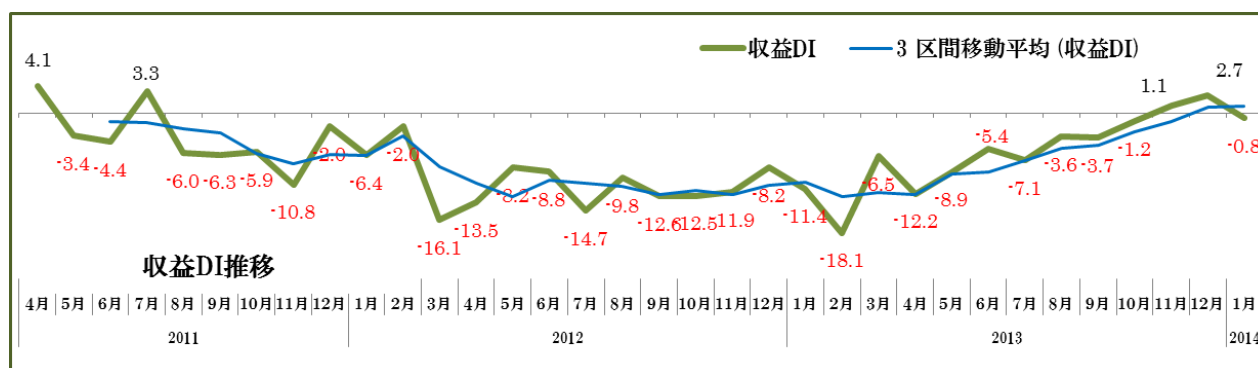
II. 調査結果推移 (2011年4月～)

1. スーパーマーケット経営動向調査

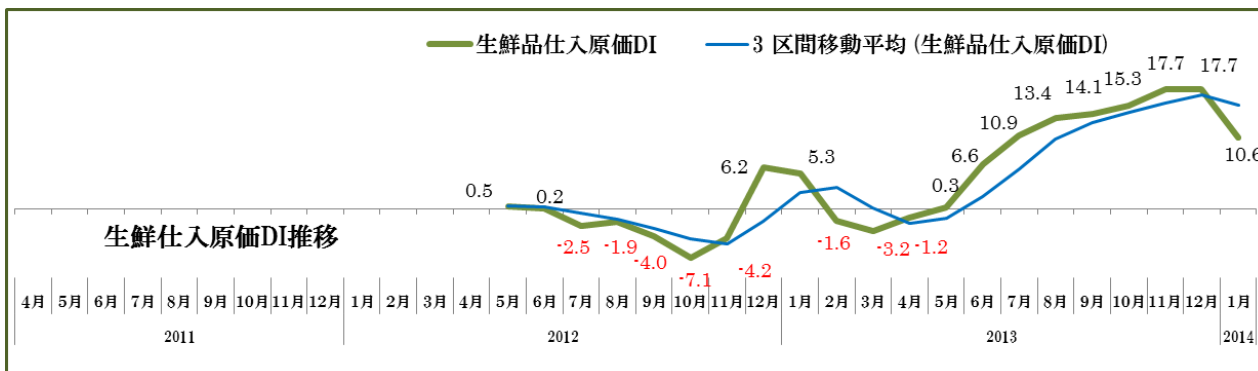
①売上高DI 上昇傾向一服も依然としてプラスを維持



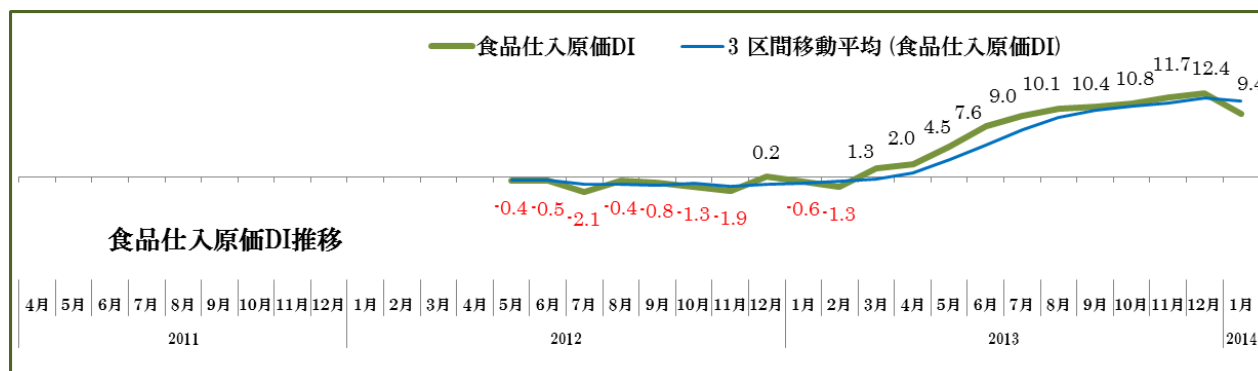
②収益DI ゆるやかな上昇傾向は一服も高水準を維持



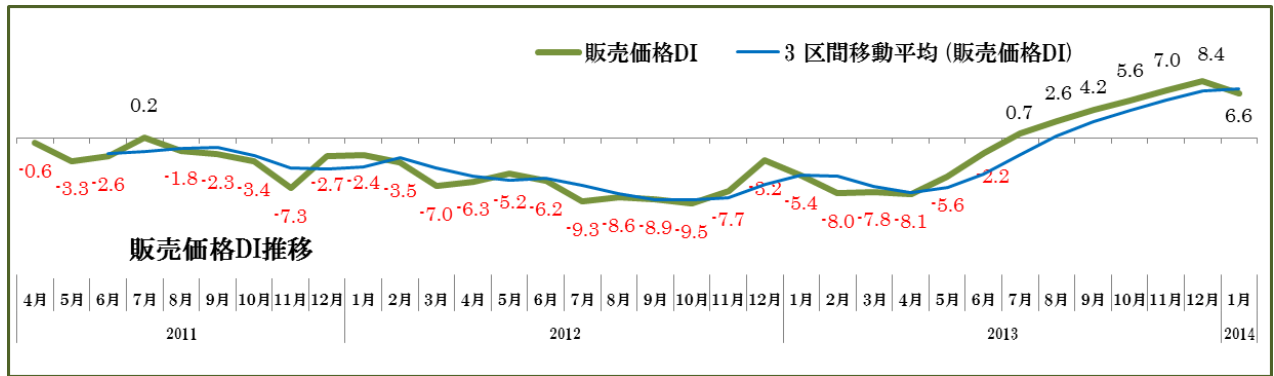
③生鮮仕入原価DI 上昇傾向は一服し直近は下降



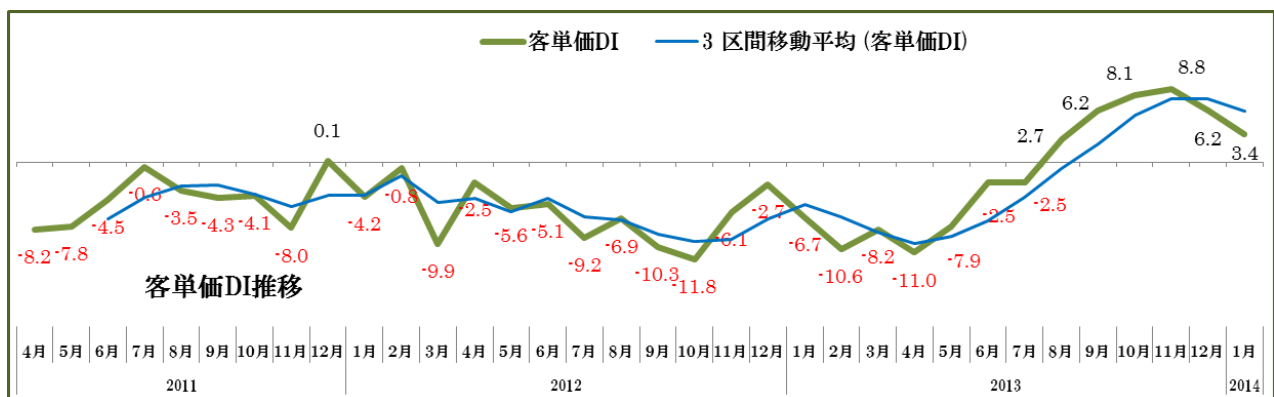
④食品仕入原価DI 横ばい傾向で高水準を維持



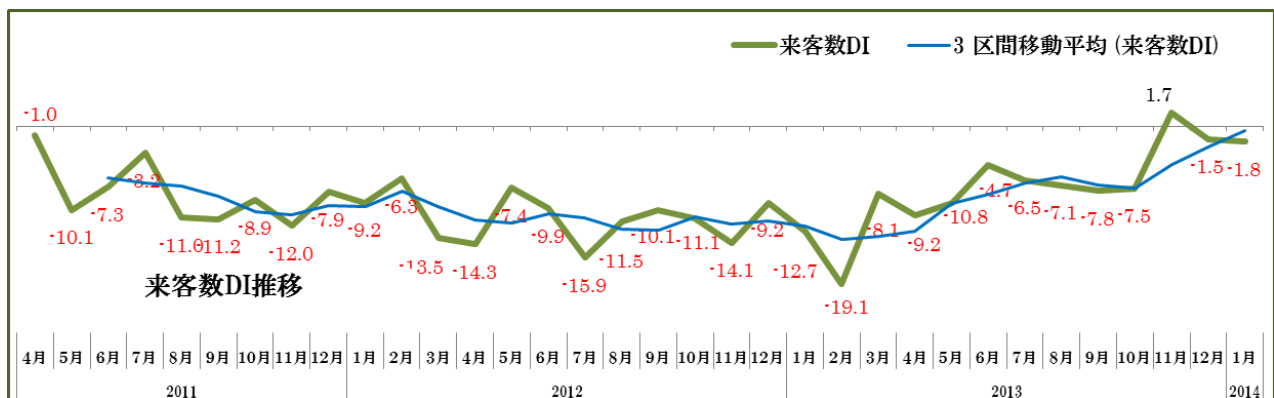
⑤販売価格 DI 4月以降緩やかな上昇傾向一服も高水準を維持



⑥客単価 DI 上昇傾向一服もプラスは維持



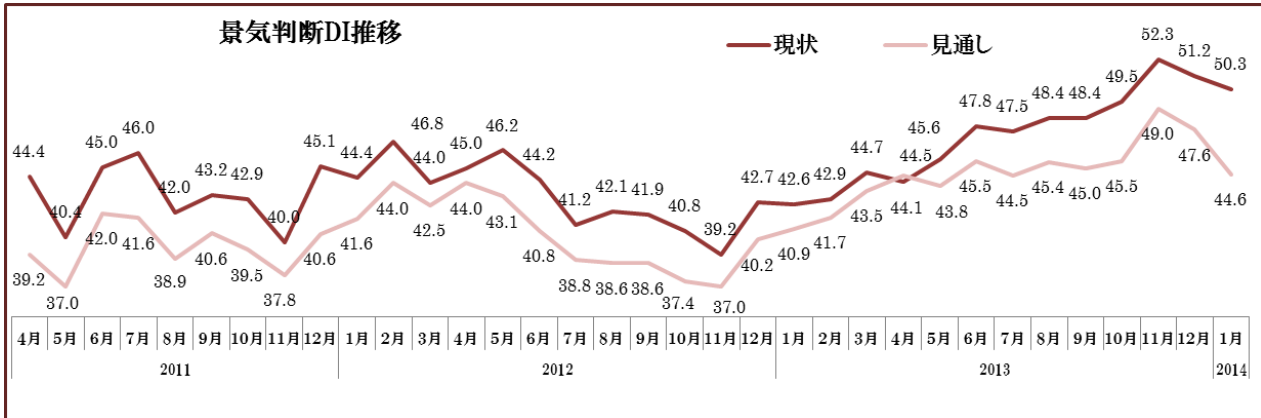
⑦来客数 DI わずかに下降も高水準を維持



2. スーパーマーケット景況感調査

①景気状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に下降傾向、特に見通し判断の下降が大きい



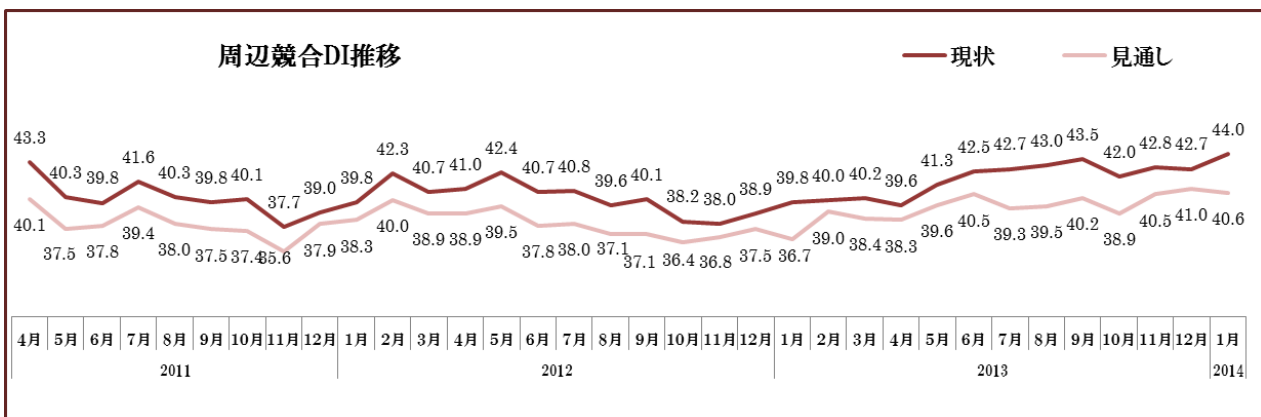
②消費者購買意欲 DI（現状判断・見通し）

現状判断、見通し判断共に下降傾向、



③周辺競合状況 DI（現状判断・見通し）

現状判断はやや改善するも、見通し判断は横ばい傾向が続く



④周辺地域景気DI（現状判断・見通し）

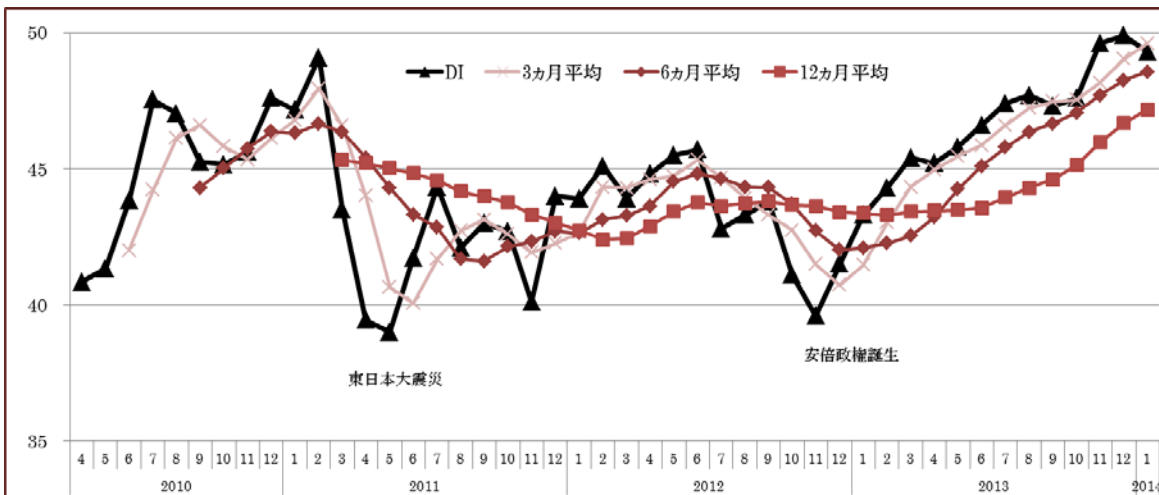
現状判断は横ばい推移、見通し判断やや下降



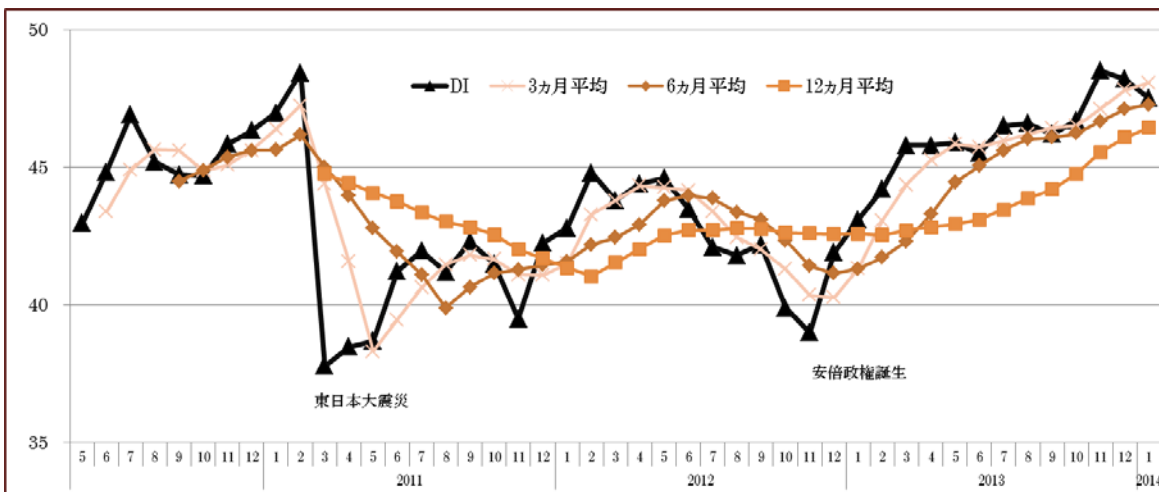
※移動平均（周辺地域景気DI 現状・見通し判断）

当月DIは現状、見通し判断は共に降しているが、各平均線は上向きの推移を維持している。2012年11月から上昇傾向が顕著にみられていたが、直近ではやや頭打ちの兆しもみられる。現状判断に比べ、見通し判断の上昇の勢いに陰りがみられる。

①現状判断（中長期傾向）



②見通し判断（中長期傾向）

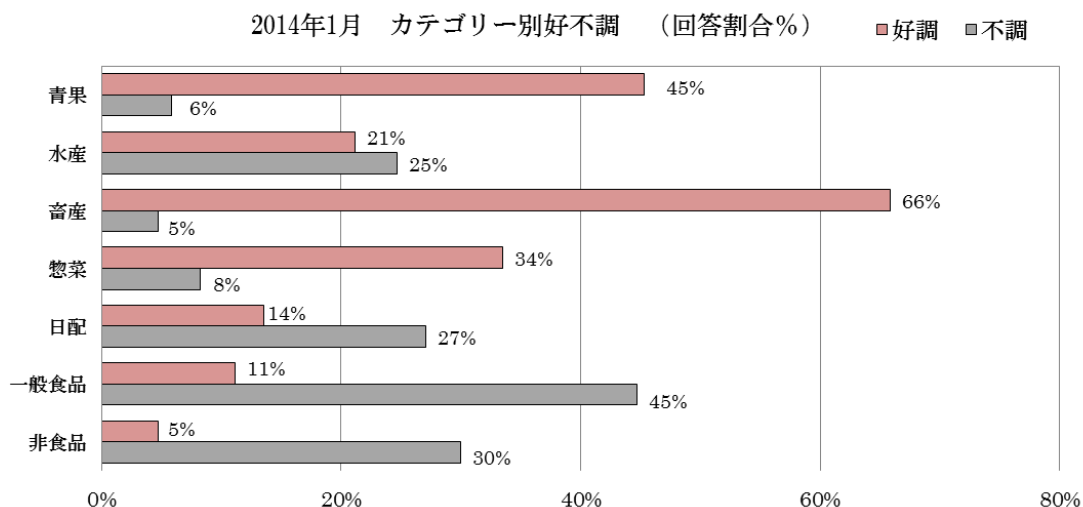


III. カテゴリー別動向

① 好調・不調カテゴリー（回答割合）

好調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

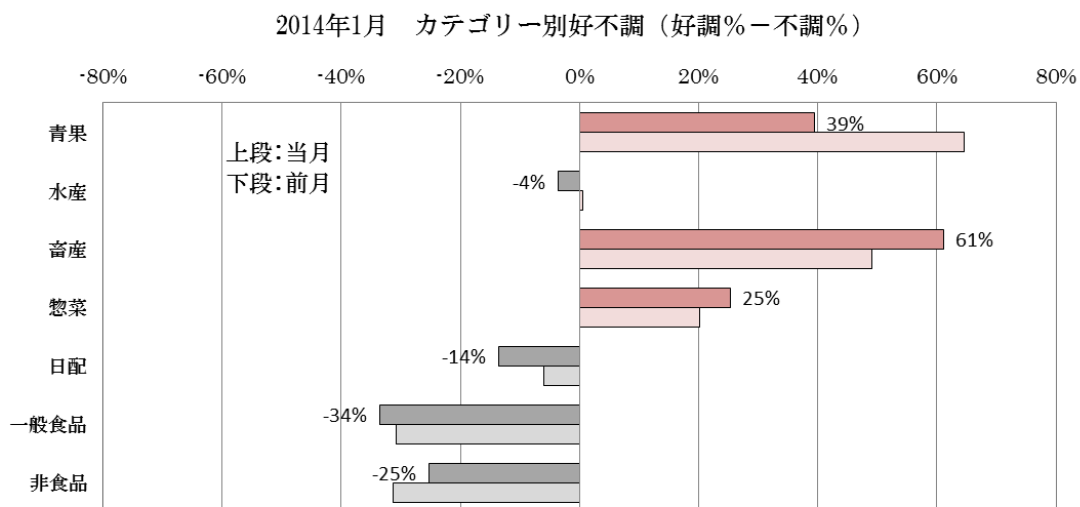
不調：①「一般食品」②「非食品」③「日配」



② 好調・不調カテゴリー（回答差）

好調>不調：①「畜産」②「青果」③「惣菜」

好調<不調：①「一般食品」「非食品」③「日配」



※集計企業数=170社

③ 主な好調・不調コメント

	好調コメント	不調コメント
青果	青果相場高、カット野菜	いちご(生育遅れ、価格高)
水産	鍋・おでん商材	鮮魚入荷減
畜産	牛肉、豚肉、鶏肉、加工肉	輸入豚肉価格高
惣菜	(寿司)(揚げ物)	
日配		冷凍食品、(パン)
一般食品	保存食品、	酒、米、菓子、価格競争、
非食品	冬物関連商品	ドラック、ディスカウント店との競合

() は少数コメント